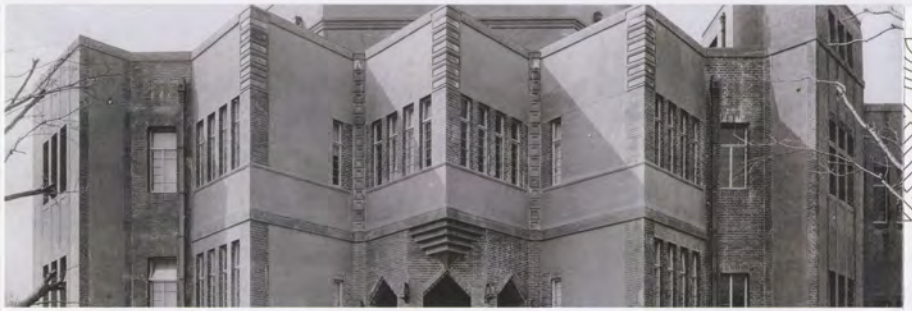
第45回禅博セミナー

建設から営繕へ　駒澤大学 耕雲館･洋館…

コロナ禍の折に、著作権法の改正があり、大学の授業での引用利用等については、より寛容な対応となりましたが、公開される講座での画面・資料配布等は、過日の著作権法と同じ条件下にあると考えるべき環境にあります。
従いまして、会場ので紙媒体資料の配布は、慣例状可能と考え実施しますが、画面の撮影等は、御遠慮頂ければ幸いです。

建築家 内田祥士



駒澤大学旧図書館は、昭和 3(1928) 年に開館した駒澤大学の 2 代目図書館です。設計者は、ライト風 (式) 建築の第一人者と評される菅原榮蔵です。
鉄骨鉄筋コンクリート造の耐震性を備えた建物にスクラッチタイルと幾何学模様のテラコッタによる装飾性はフランク・ロイド・ライトの帝国ホテル 2 代目本館 (ライト館) を想起させます。一方で、折板構造と呼ばれる屏風上に造られた外観やトップライトにステンドグラスを配した吹き抜けの閲覧室の空間構造などは菅原榮蔵の独創性を感じさせる建物です。

建築家　菅原榮蔵

菅原榮蔵 (1892－1967) は大正時代、昭和時代に活躍した建築家です。特にフランク・ロイド・ライトの帝国ホテル 2 代目本館 (ライト館) の影響を受けた建築様式ライト風 (式) 建築の第一人者と評されます。
その代表作としては、建築事務所からの独立後、最初の本格的な建設設計である旧新橋演舞場 (大正 14 年竣工)、駒澤大学旧図書館 (昭和 3 年開館)、大日本麦酒株式会社本社ビル (昭和 9 年竣工) が挙げられ、関東大震災からの復興時期を代表する建築家の一人です。

旧図書館の歴史

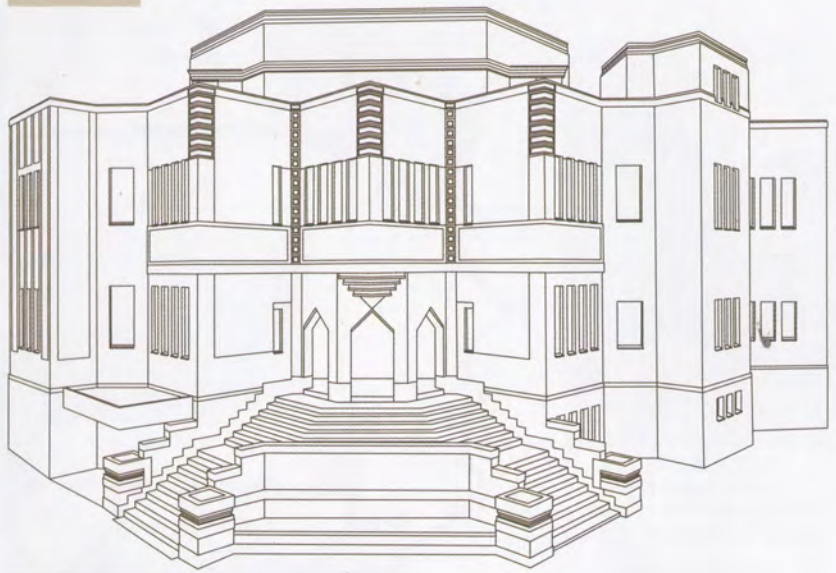
新図書庫 (完成当時)

大正 12 (1923) 年	関東大震災により初代図書庫が破損
大正 14 (1925) 年	新図書庫落成
大正 15 (1926) 年	閲覧室の建設開始
昭和 2 (1927) 年	2 代目図書館の学生向け利用を開始
昭和 3 (1928) 年	開館記念式典を挙行
昭和 48 (1973) 年	3 代目図書館完成　図書庫の取り壊し
昭和 54 (1979) 年	「耕雲館」と命名
平成 11 (1999) 年	東京都選定歴史的建造物となる
平成 14 (2002) 年	禅文化歴史博物館として開館
令和 7 (2025) 年	国登録有形文化財 (建造物) となる

昭和 4 (1929) 年　卒業式

旧閲覧室 (戦後)

耕雲館時代

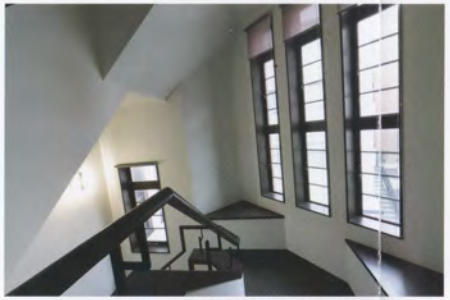


国登録有形文化財 (建造物)

駒澤大学旧図書館 (禅文化歴史博物館・耕雲館)

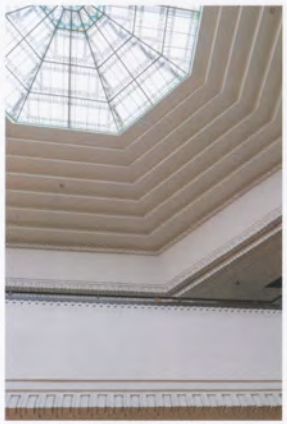
大正時代のモダン建築　震災復興の図書館

天井を飾るステンドグラス
天井に設置したステンドグラスから
光を採り、閲覧室を照らしました。

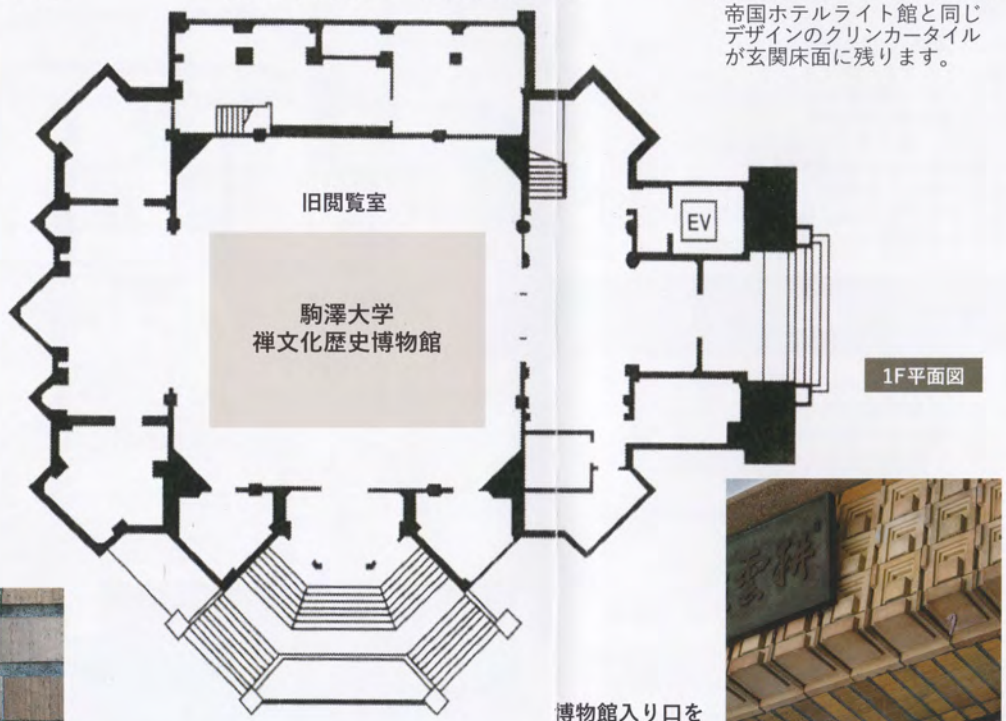


1階と2階を繋ぐ螺旋階段
白と黒で配色された螺旋階段と
縦長の窓が美しい空間を演出します。

開館当時のクリンカータイル
帝国ホテルライト館と同じ
デザインのクリンカータイル
が玄関床面に残ります。

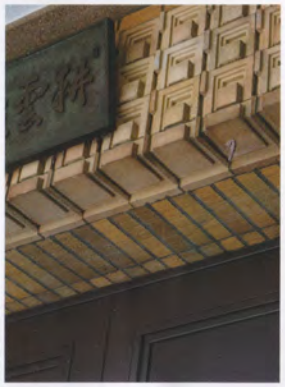


旧閲覧室を囲む
幾何学模様の意匠
幾何学模様のテラコッタが
旧閲覧室全体を囲みます。



1F平面図

ライト風建築の象徴・スクラッチタイル
ライト館のスダレ煉瓦の特徴である
縦に多数の溝が入る意匠を引き継いだ
スクラッチタイル



博物館入り口を
飾るテラコッタ
幾何学模様の
テラコッタと壁面
のスクラッチタイル
はライト風建築の
特徴です。

幾何学模様の建築陶器
旧閲覧室の壁面は幾何学模様の建築陶器で装飾されています。外観、玄関床面、調度品にも使用される幾何学模様の意匠は、帝国ホテルライト館を想起させます。

震災の復興建築
旧図書館の屏風状の外観は地震の揺れの力を分散するための折板構造と呼ばれます。図書庫建設中の写真では、鉄骨鉄筋コンクリート造の丈夫な構造を確認することができます。

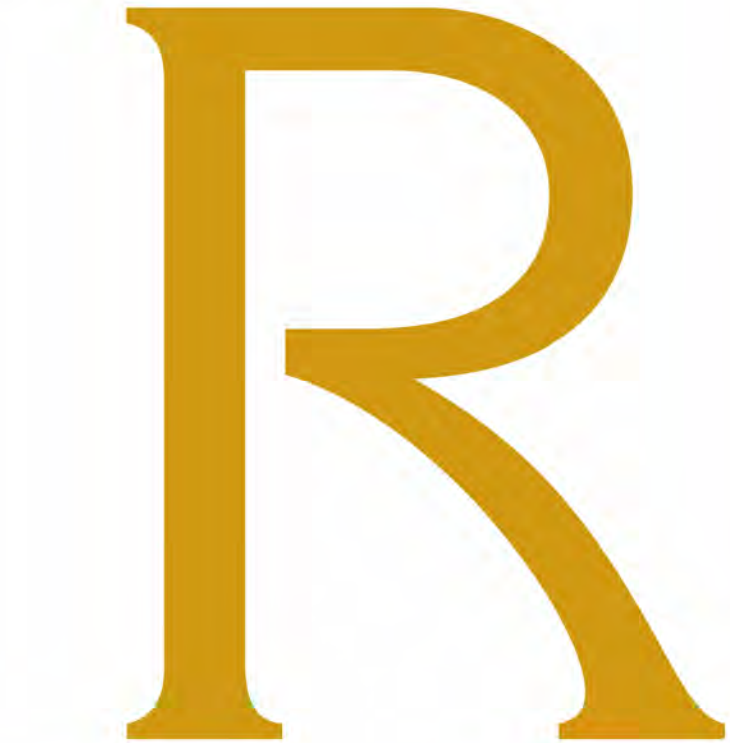
開館当時の調度品
菅原榮蔵は、受注した建物内に置く調度品も自ら設計を行いました。当館内には、菅原榮蔵設計の椅子や衝立、日本初の図書館用品の総合商社・間宮商店製の棚が現存しています。

営繕論

希望の建設・地獄の営繕

内田祥士 *Yoshio Uchida*

建築・都市レビュー叢書 03



NTT出版

営繕論

希望の建設・地獄の営繕

内田祥士

建築・都市レビュー叢書 03

NTT出版

9784757160729

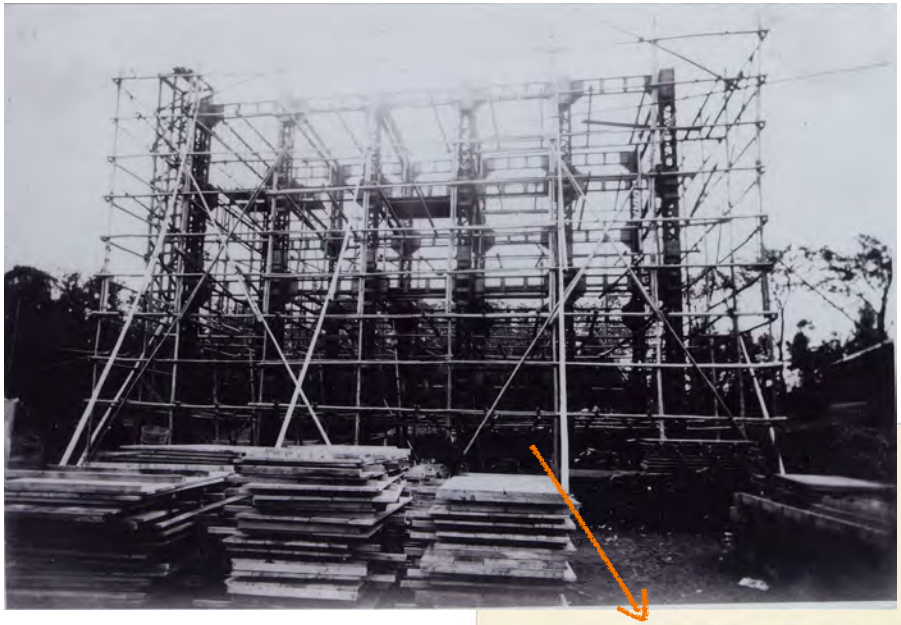
1920052026003

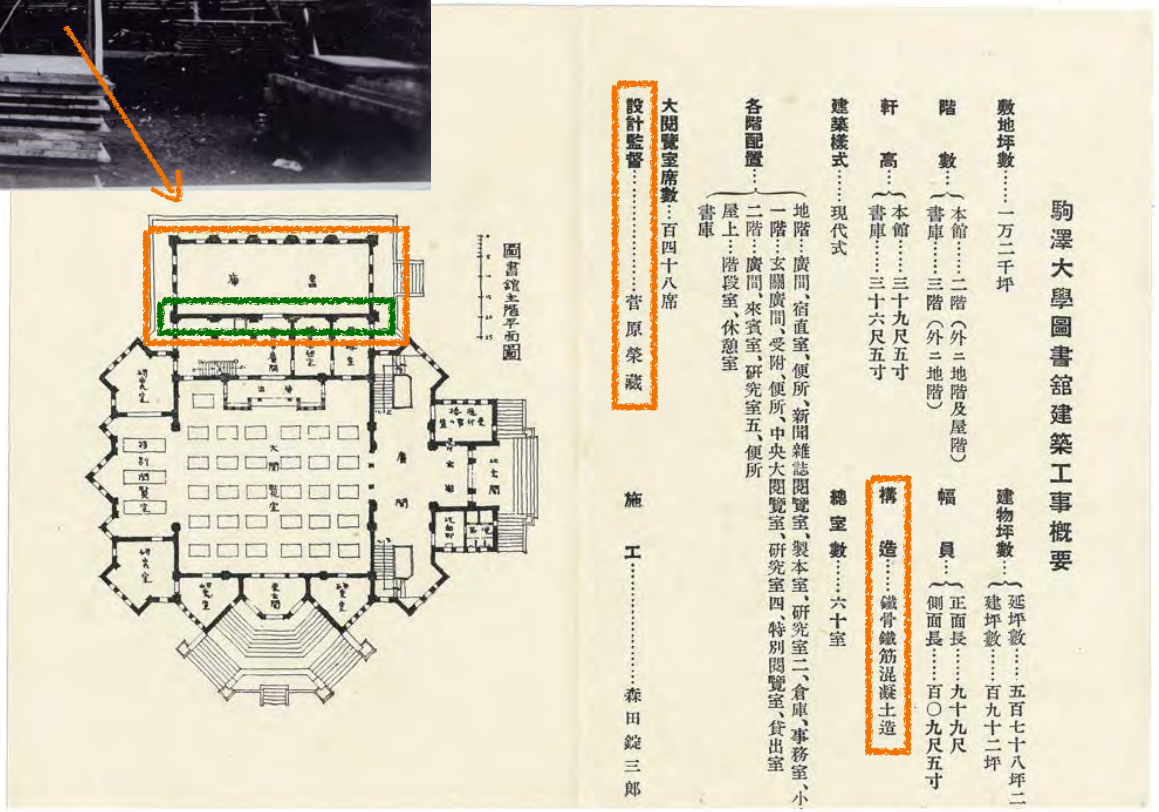
ISBN 978-4-7571-6072-9
C0052 ¥2600E

NTT出版
定価（本体2,600円＋税）

『建設から営繕へ　駒澤大学耕雲館・洋館・・・』

時代	術語	官衙･公共建築
古代	『営繕令』の渡来	営繕=営造+修繕
中世・近世	『普請』の渡来	作事+普請+小普請
近代	『営繕』の復古	営繕=営造+修繕
	Constructionの渡来	営造 → 建設
現代	建設重視	建設 ＋ 営繕（修繕）
大学	建設	建設委員会
	営繕	管財





新築駒澤大學圖書館繪葉書

駒澤大學圖書館建築工事概要

敷地坪數……一万二千坪

建物坪數……（延坪數……五百七十八坪二
　　建坪數……百九十二坪

階　數……（本館……二階（外ニ地階及屋階）
　　書庫……三階（外ニ地階）

幅　員……（正面長……九十九尺
　　側面長……百〇九尺五寸

軒　高……（本館……三十九尺五寸
　　書庫……三十六尺五寸

構　造……鐵骨鐵筋混凝土造

建築樣式……現代式

總室數……六十室

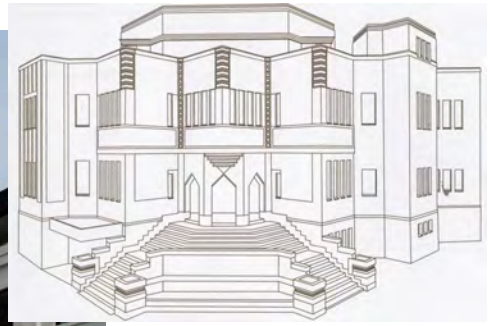
各階配置……（地階……廣間、宿直室、便所、新聞雜誌閱覽室、製本室、研究室二、倉庫、事務室、小
　　一階……玄關廣間、受附、便所、中央大閱覽室、研究室四、特別閱覽室、貸出室
　　二階……廣間、來賓室、研究室五、便所
　　屋上……階段室、休憩室
　　書庫

大閱覽室席數……百四十八席

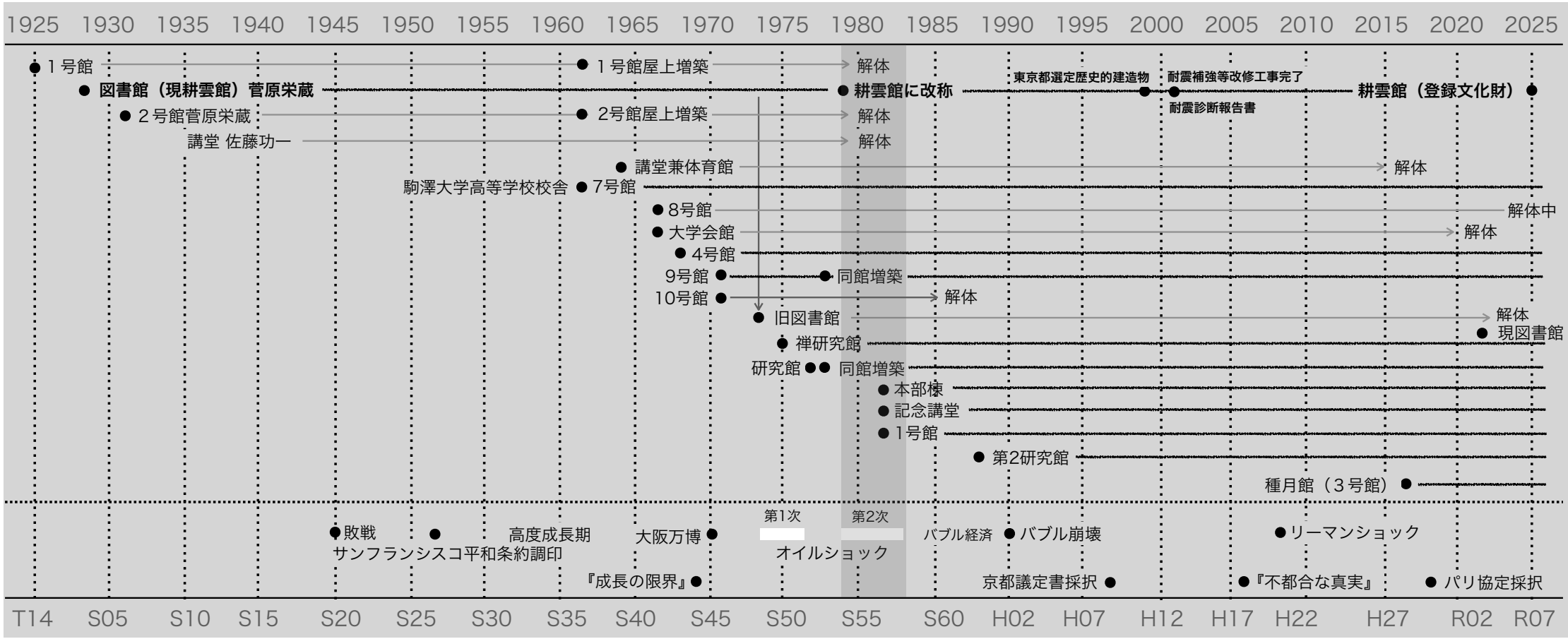
設計監督……菅原榮藏

施　工……森田錠三郎

圖書館土階平面圖

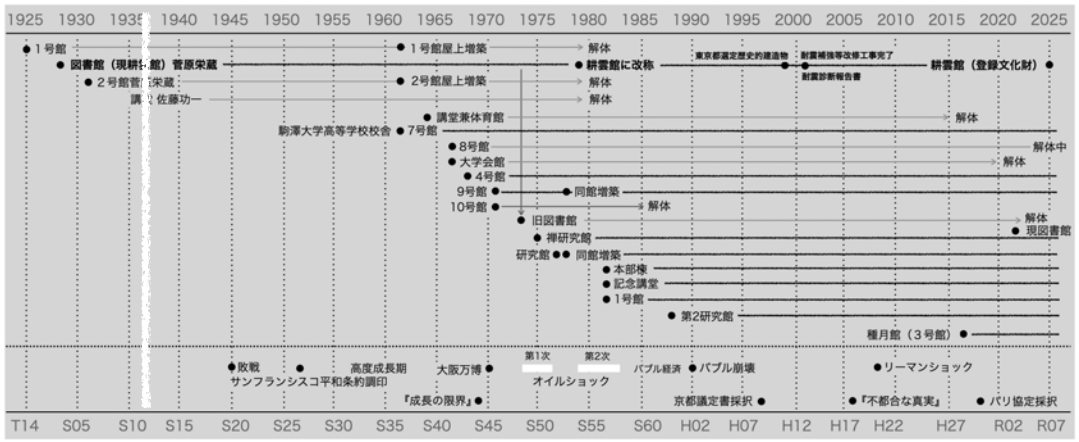


1925-2025年　駒澤大学（駒沢キャンパス）の主要建物の変遷



『駒澤大学90年史』等より

1925-2025年　駒澤大学（駒沢キャンパス）の主要建物の変遷



『駒澤大学90年史』等より

駒澤大学九十年史

——昭和三十七年より十年間の歩み——

9784757160729
ISBN 978-4-7571-6072-9
C0052 ¥2600E
1920052026003
NTT出版
定価（本体2,600円＋税）

第45回禅博セミナー

建設から営繕へ

建築家 内田祥士